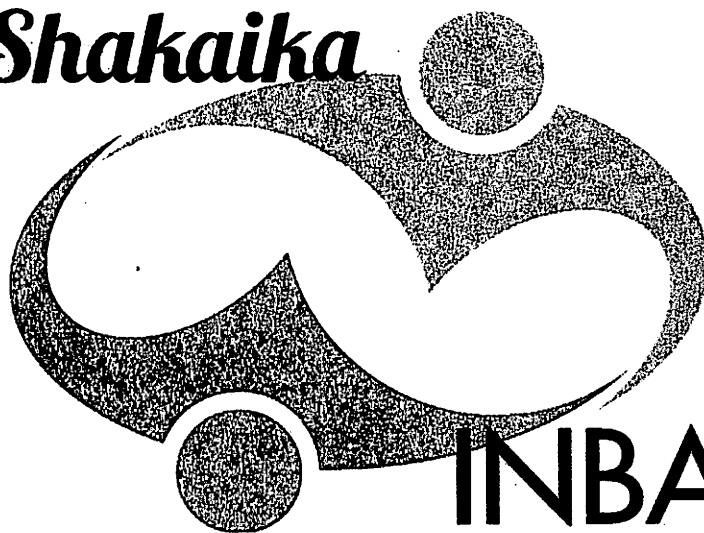




*Shakaika*



**INBA**

# 平成29年度 事業報告

社会科研究部

月日	事業名	内容	会場	参加数	備考
4月 3日 (月)	・平成29年度版 白地図の刊行		郡市内各小・ 中学校		白地図委員会
4月12日 (水)	・第1回役員会議	・総会資料検討	印旛教育会館	20	
5月 9日 (火)	・研究部総会	・本年度計画 ・役員選出	富里中央 公民館	300	
5月23日 (火)	・第2回役員会議 ・専門委員会	・委嘱状交付 ・活動計画作成	印旛教育会館	20 80	各専門委員会
6月21日 (水)	・第3回役員会議 ・研修委員会 (教研提案検討会)	・研究集会 運営計画検討 ・提案小学校4校 中学校4校	印旛教育会館	20 20	研修委員会
7月31日 (月) ～8月 1日 (火)	・地域巡検 (1泊2日)	・現地研修会	岩手県	40	巡検委員会
8月23日 (水)	・教育研究集会 ※8月18日(金) リハーサル・準備	・提案小学校4校 中学校4校	富里中央 公民館	300	研修委員会
10月26日 (木) 10月27日 (金)	・全国小学校社会科 研究協議会 研究大会奈良大会	・小学校5年提案	奈良県 大和郡山市立 筒井小	5	提案者 佐藤 達也 助言者 根本 悦光 司会者 村上 武宏
11月17日 (金)	・社会科功労者表彰		メルキュール ホテル成田	170	岩崎 京子 様 大石 忠男 様 鈴木 好雅 様 木村 一彦 様 渡邊 薫 様 山本 亨 様 宮川 拓史 様 富里市立 富里小学校
11月22日 (水)	・千葉県教育研究会 社会科教育部会 研究大会 (安房大会)		館山市立 北条小学校 館山市立 第三中学校	45	
12月 5日 (火)	・社会科授業推進 研修会	・授業研修会	八街市立 朝陽小学校	100	推進委員
1月24日 (水)	・第4回役員会議	・事業報告 ・次年度計画	印旛教育会館	20	

平成29年度 会計決算報告

(単位円)

収入	支出	比較	備考
489,000	489,000	0	

1 収入の部

費 目	予算額	決算額	比 較	備 考
1 印教研配当予算	489,000	489,000	0	
2 繰越金	0	0	0	
合 計	489,000	489,000	0	

2 支出の部

費 目	予算額	決算額	比 較	備 考
1 謝金	70,000	60,680	9,320	研修会・指定校
2 旅費	50,000	50,000	0	研究活動のための旅費
3 資料費	285,000	284,600	400	研修会資料費・部報印刷費・ 巡研資料費・巡研まとめ作成 費・その他資料費
4 通信運搬費	26,000	22,310	3,690	はがき、切手、送料
5 功労者表彰費	20,000	30,000	△ 10,000	功労者表彰費
6 その他借損料	38,000	41,410	△ 3,410	研修会・役員会・専門委員会 会場費・消耗品・その他
合計	489,000	489,000	0	

# 平成30年度 活動方針(案)

※ 参考：平成29年度 活動方針

## 【活動方針】

### ○ 基本方針

- 1 現代社会に対応した社会科学習の基礎・基本を身につけさせ、生きる力を培うための研究・研修を推進する。
- 2 学習指導要領に即した地域学習の推進に向けて、副読本や白地図等の資料のあり方や有効活用について研究と研修を推進する。
- 3 社会科教師としての見聞を広め、興味関心を高める授業づくりのために、教材開発に結びつく地域巡検を推進する。
- 4 印旛地区において社会科研究が推進されるように、授業研究等を実施する学校、個人への積極的な支援を行う。
- 5 社会科研究部の全活動を通して、教員としての資質向上に努める。

### ○ 研究主題

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習  
～自ら課題をみだし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成をめざして～

### ○ 主題設定の理由

- (1) 社会科の目標から  
学習指導要領には、小中学校社会科の共通の目標として「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」とある。社会の形成者としての力を培うことは社会科の本来の使命であると言える。
- (2) 社会の状況から  
知識基盤社会やグローバル化が進む今、児童生徒に基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び、自ら考える力を培うことはこれからの社会の急激な変化に対応するために必要なことだと考える。
- (3) 印教研社会科研究部の方向性から  
「自分の考えを、言葉や図などで表現すること」、「相手にわかるように、自分の考えを表現すること」など単なる知識・技能の習得だけでなく、社会で生かせる力の育成が各所で課題として挙げられている。児童生徒には、「生きる力」を培う基礎として、社会的・歴史的な事実をもとに調べ、考え、まとめ、表現する力の向上が求められている。  
印教研社会科研究部としては、これらを踏まえ、学んだことを実生活や実社会において、どのように生かすことができるのか、自分にも関わることがあるのではないかと考え続けることができる児童生徒の育成を目指している。  
以上の趣旨から、本研究主題を設定した。

### ○ 研究を進める上での留意点

- (1) 求められる社会科教師の資質
  - ① 社会科学習における基礎・基本を的確に指導できる教師。
  - ② 指導力を高めるための研究、研修に積極的に取り組む教師。
  - ③ 社会科教育の趣旨を理解し、教材開発、教材研究を積極的に行う教師。
  - ④ 社会的事象を的確に把握し、学習活動への働きかけができる教師。
  - ⑤ 児童生徒が事象からみだした疑問や考えを尊重できる教師。
- (2) 児童生徒に身につけさせたい能力
  - ① 未来を開くために必要な基礎的・基本的な事項を理解する力。
  - ② 社会的事象に関心をもち、進んで課題をみだす力。
  - ③ 課題解決のために必要な資料を収集し活用する力。
  - ④ 自らの考えを自分の言葉で表現する力。
  - ⑤ 豊かな人間性や社会性を持ち、国際社会に生きる日本人としての自覚を持つ力。
- (3) 社会科研究の方向性
  - <これまでの取り組み>
    - ① 問題解決的な学習を推進し、児童生徒の主体的な学習の展開に努めた。
    - ② 調べ方、まとめ方、発表の仕方などを計画的に身につけさせるなど言語活動の充実を図った。
    - ③ 資料の内容や提示方法を工夫し、児童生徒の興味関心を高める手立てを図った。
    - ④ 指導と評価の一体化をめざし、基礎・基本の定着に努めた。
  - <これからの方向性>
    - ① 課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を取り入れる。
    - ② ねらいに則し、意欲が継続する学習問題を設定する。
    - ③ 体験的な学習や問題解決的な学習を指導計画の中に位置付ける。
    - ④ 地図や統計等の資料の読み取り方や話し合いの仕方を身につけさせる。
    - ⑤ 自分の考えを自分の言葉で表現することができるように継続的・段階的に指導する。
    - ⑥ 小中の連携を図り、発達段階に応じた指導の工夫を重ねる。

## 平成30年度 事業計画（案）

社会科研究部

月日	事業名	内容	会場	参加数	備考
4月 2日 (月)	・平成30年度版 白地図の刊行		郡市内各小・ 中学校		白地図委員会
4月17日 (火)	・第1回役員会議	・総会資料検討	印旛教育会館	20	
5月 8日 (火)	・研究部総会	・本年度計画 ・役員選出	富里中央 公民館	300	
5月22日 (火)	・第2回役員会議 ・専門委員会	・委嘱状交付 ・活動計画作成	印旛教育会館	20 80	各専門委員会
6月20日 (水)	・第3回役員会議 ・研修委員会 (教研提案検討会)	・研究集会 運営計画検討 ・提案小学校4校 中学校4校	印旛教育会館	20 20	研修委員会
7月31日 (火) ～8月 1日 (水)	・地域巡検	・現地研修会	静岡方面		巡検委員会
8月 日 ( )	・千葉県教育研究会 社会科教育部会 宿泊研修会 (長生大会)	・中学校地理提案	長生地区		
8月28日 (火)	・教育研究集会  ※8月21日(火) リハーサル・準備	・提案小学校4校 中学校4校	富里中央 公民館	300	研修委員会
11月 日 ( )	・社会科功労者表彰		メルキュール ホテル成田		
月 日 ( )	・社会科授業推進 研修会	・授業研修会			推進委員 研修委員
1月23日 (水)	・第4回役員会議	・事業報告 ・次年度計画	印旛教育会館	20	

平成30年度 会計予算(案)

(単位円)

前年度予算額	本年度予算額	比較	備考
489,000	489,000	0	

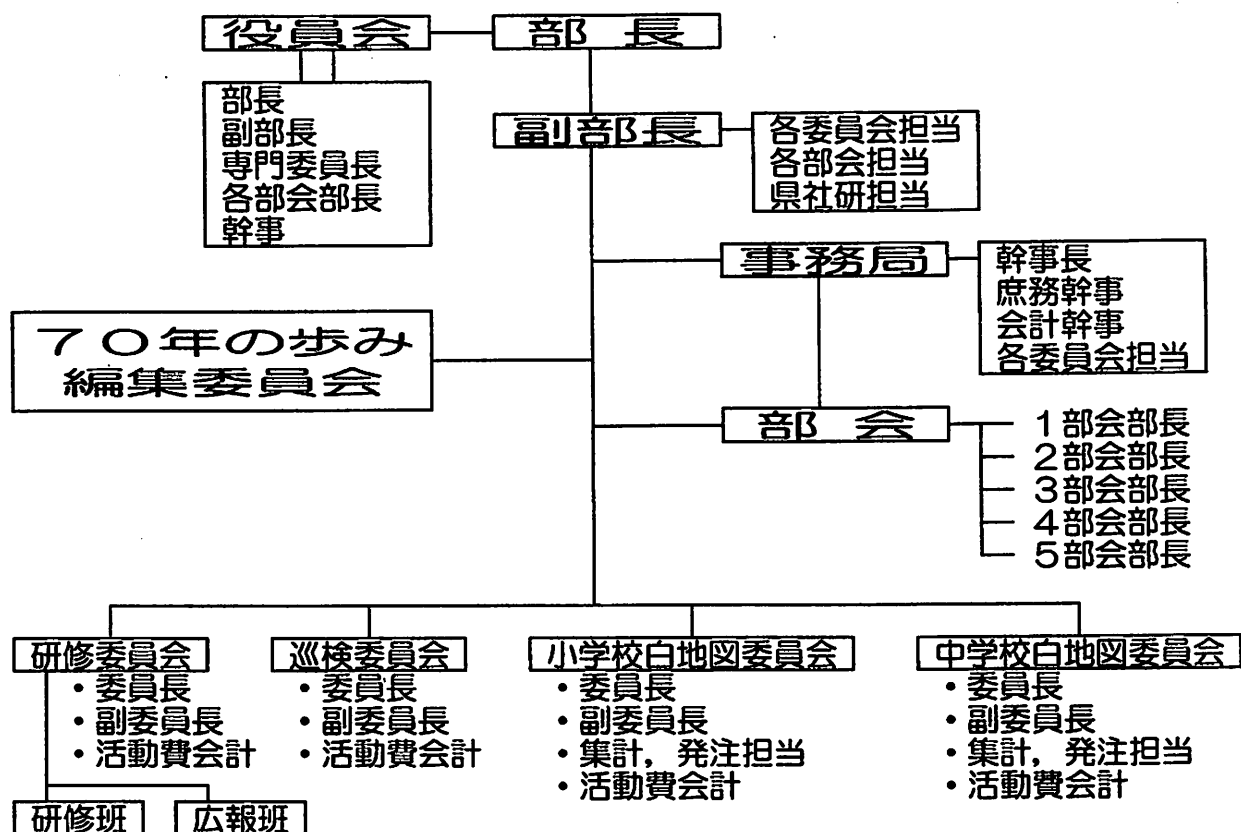
1 収入の部

費目	前年度予算額	本年度予算額	比較	備考
1 印教研配当予算	489,000	489,000	0	
2 繰越金	0	0	0	
合計	489,000	489,000	0	

2 支出の部

費目	前年度予算額	本年度予算額	比較	備考
1 謝金	70,000	65,000	△ 5,000	研修会・指定校・巡研講師謝金
2 旅費	50,000	50,000	0	研究活動のための旅費
3 資料費	285,000	285,000	0	研修会資料費, 部報印刷費, 巡研資料費, 巡研冊子印刷製本費, その他資料費
4 通信運搬費	26,000	21,000	△ 5,000	はがき, 切手, 送料, 封筒印刷代
5 その他借損料	58,000	68,000	10,000	功労者表彰費, 研修会・役員会・専門委員会会場費, 消耗品, その他
合計	489,000	489,000	0	

## 印教研社会科研究部 組織（案）



### 【活動内容】

役 職	内 容
部 長	研究部活動の全体指導
副 部 長	部長の補佐 担当部署の指導助言 役員会議に関すること * 議長
事 務 局	研究部運営の企画立案と運営に関すること ・役員会議に関すること ・総会に関すること ・レセプションに関すること（懇親会、祝賀会他） ・会計に関すること ・教育研究集会の企画に関すること
巡検委員会	地域巡検の企画立案と運営 巡検冊子の編集
研修委員会 研修班 広報班	教育研究集会の運営に関すること 研修活動に関する企画立案と運営に関すること ・社会科主任を対象とした研修計画の立案と運営 ・教育研究集会の運営 ・社会科研究部報の作成と発行
小学校白地図委員会	・白地図の作成に関する企画立案と運営に関すること ・白地図の注文
中学校白地図委員会	・白地図の作成に関する企画立案と運営に関すること ・白地図の注文

### 【部会】

部 会 部 長	部会活動の総括及び指導助言、研修・白地図委員会の人選 郡研究部との連絡調整
部会副部長	部会長の補佐 部会活動の企画立案と推進
部 会 幹 事	部会活動の推進と会計



平成30年度 社会科研究部役員一覧 (案)

役 職	氏 名	所 属 校
部 長		
副 部 長		

専門委員会 (部長の委嘱)

委員会名	氏 名	所 属 校
巡検委員会	委員長 長 副委員長 長	
研修委員会	委員長 長 副委員長 長	
小学校白地図委員会	委員長 長 副委員長 長	
中学校白地図委員会	委員長 長 副委員長 長	

幹 事 (部長の委嘱)

幹 事	氏 名	所 属 校
幹 事 長		
幹事 1部会		
幹事 2部会		
幹事 3部会		
幹事 4部会		
幹事 5部会		

平成30年度 部会役員

部会	部 長	副 部 長	幹 事
1	林 智 (志津中)	佐々木 智光 (梁井野小) 坪内 章晋 (千代田小) 野田 創 (井野中) 久保 翔太 (佐倉小)	富松 眞二郎 (上志津小) 狩野 恵理子 (佐倉東小) 土屋 貴亮 (志津中) 藤川 敬介 (大室台小)
2	安藤 文朗 (遠山小)	小林 孝 (西中) 山本 みゆき (加良部小) 佐藤 淳 (成田小) 継山 弘子 (安食台小)	高嶋 親史 (富里小) 佐々木 政光 (富里中) 高橋 堅介 (公津の杜小) 大平 あゆみ (向台小)
3	市原 康之 (原山小)	菅原 高寿 (七次台中) 大川 誠 (大森小) 大川 征人 (いには野小)	阿部 哲 (池の上小) 山口 拓 (滝野中) 金澤 康太 (原山小) 大坂 尚弘 (印旛中)
4	湯浅 誠 (八街北中)	多田 勇司 (八街中) 真田 賢治 (八街北小)	藤城 公久 (八街東小) 佐藤 一馬 (笹引小) 木本 洋輔 (朝陽小)
5	山田 孝雄 (四街道北中)	能村 幸恵 (四街道小) 中村 圭吾 (四街道中)	多久 島司邦 (四街道小) 佐藤 円 (四街道中)

千葉県教育研究会社会科教育部会

副 会 長	諸根 彦之	佐倉市立根郷小学校
事 務 局	栗原 知広	成田市立成田中学校

社会科研究部70年の歩み編集委員会

編集委員長	松井 秀明	富里市立七栄小学校
編集副委員長	森澤 仁志	八街市立交進小学校
編集委員	各部会より 1~2名	

## 教研集会 提案部会の確認

### ○教研集会の提案輪番表

	小学校 110校 (義務教育学校小学部を含む)					中学校 49校 (義務教育学校中学部を含む)				
部会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
学校数	25	36	29	8	12	12	14	14	4	5
19		幕内 (布鎌)	安部 (本埜二)			村上 (佐倉)				福士 (四西)
20			継山 (木下)	佐伯 (実住)		小林 (酒々井)	高柳 (富里北)			
21	坪内 (根郷)				安倍 (八木原)		菅谷・金杉 (西・中台)	関口 (大山口)		
22	佐々木 (上志津)	安部 (成田)						渡邊 (原山)	宮内 (八中央)	
23		添田 (豊住)	安部 (小倉台)			関口・大塚 石井・金子 (志津)				村上・松田 堰澤・池田 (四街道)
24			赤石 (七次台)	相沢 (笹引)		樋口 (白井)	新・水・絹 (栄)			
25	合田 (染井野)				小野寺 (大日)		山口 (富里北)	猪瀬・谷 (西の原・桜台)		
26	佐々木 (染井野)	安部 (成田)	金澤 (原山)					川上・貝田 (本埜・滝野)	羽石 (八街北)	程田 (四街道北)
27		山本 (加良部)	高橋 (大森)	能村 (実住)		野田・高橋 (井野)	田野崎 (成田)	白井 (印西)		
28	宮川 (間野台)	滝澤 (日吉台)	大川 (宗像)		佐藤 (みそら)	岡田 (南部)	佐々木 (富里)	榎澤 (小林)	中川 (八街南)	
29	久保 (佐倉)	溝口 (公津)	細川 (小倉台)	木本 (朝陽)		布施 (上志津)	小林 (下鶴みどり)	山下 (白井)		村井 (千代田)
30	○	○	○		○	○	○	○	○	
31	○	○	○	○		○	○	○		○
32	○	○	○		○	○	○	○	○	
33	○	○	○	○		○	○	○		○

### ○千社研 宿泊研修会 提案 (平成13年度から隔年開催)

年度	提案分野	提案部会	提案者	所属校
14	小学校 高学年	2	君塚 信宏	玉造小学校
16	中学校 歴史	5	林 輝彦	千代田中学校
18	小学校 中学年	3	小林 すみ子	木下小学校
20	中学校 地理	1	善財 利治	佐倉中学校
22	小学校 高学年	4	佐伯 和博	実住小学校
25	中学校 歴史	2	金杉集美・鈴木良平	栄中学校
28	千社研宿泊研修担当地区			
30	中学校 地理	5		
32	小学校 中学年	3		

- 提案内容 ・ 社会の見方, 考え方を育む社会科学習及び基礎基本の内容の定着  
 ・ 地域教材の開発

- 留意点 ・ 社会科としての主題を設定, 学校の主題ではなく提案者の主題を設定  
 ・ 地域教材の再開発という視点を持てると良い